

2026
5

かながわの交通

交通安全年間スローガン受賞作品(内閣府特命担当大臣賞) ~一般部門~ 歩行者等に呼びかける部門

ヘルメット 命のお守り 忘れずに



令和8年春の全国交通安全運動出発式



**三輪車、横断歩行者
高齢者による交通死亡事故多発!**

油断大敵!

運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!



ホームページ



X公式アカウント

● 県内の交通事故発生概況 (令和8年4月末現在)

年別	区分	発生件数	死者数	負傷者数
令和8年		7,095	51	8,135
令和7年		6,684	52	7,744
増減数		+411	-1	+391
増減率		+6.1%	-1.9%	+5.0%

● 県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,217,647	4,566,767	4,650,879
免許人口	5,671,572	3,203,734	2,467,838
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.8人に1人

(県人口は令和7年9月1日、免許人口は令和8年3月末)

※神奈川県的人口については令和7年10月分から国勢調査結果速報の公表が予定されている令和8年5月まで公表が休止されています。

春の全国交通安全運動の実施結果

春の全国交通安全運動が4月6日(月)から4月15日(水)までの10日間行われました。

4月6日には横浜市西区「日本丸メモリアルパーク」で運動の出発式が行われ、運動期間中には、各地区交通安全協会でも地元警察署等と連携した交通安全キャンペーンを行い、交通事故防止を呼びかけました。

春の全国交通安全運動出発式



警察本部長訓示



あかま国家公安委員会委員長挨拶



部隊の出発

期間中の交通事故の発生状況については、事故発生件数、負傷者数が増加し、交通死亡事故は1件発生しました。

◇ 期間中累計の交通事故発生概況 ◇

	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
期間中累計 (前年同期比)	621 (+51)	1 (-2)	697 (+15)

- 期間中の交通死亡事故 ・ 4月10日(金) JR南武線において列車と歩行者が衝突

運動期間中の各地区交通安全協会の活動



金沢交通安全協会
金沢文庫駅前におけるキャンペーン



(一社)鶴見交通安全協会
鶴見駅前におけるキャンペーン



(一社)高津交通安全協会
武蔵溝ノ口駅前におけるキャンペーン



(一財)旭交通安全協会 旭区出身の
高地優吾さんを招いてのキャンペーン



都筑交通安全協会 センター南駅前
におけるキャンペーン



戸塚交通安全協会 戸塚駅前における
キャンペーン



(一財)多摩交通安全協会 登戸駅前
におけるキャンペーン



逗子市交通安全協会 逗子駅前における
キャンペーン



相模原交通安全協会 警察署前
におけるキャンペーン

二輪車交通事故防止及び暴走族追放強化月間について

◎ 期 間

令和8年6月1日(月)～6月30日(火)の1か月間

◎ 目 的

多発する二輪車の交通事故を防止するため、二輪運転者の交通安全意識を高める運動を県民総ぐるみで展開するとともに、暴走族(四輪を含む)追放気運を醸成して暴走族加入防止と離脱の促進を図ります。

◎ スローガン

- ◇ 運転に ゆとり やさしさ 思いやり
- ◇ 暴走は しない させない ゆるさない!

◎ 重 点

- 二輪車の交通事故防止
- 暴走族の追放

[二輪車・ゆっくり走ろうプロジェクト]実施中



☆ 二輪車は、自分に合ったヘルメット、プロテクターやエアバックジャケット等を着用し、速度を抑制した防衛運転を心がけましょう ☆

～令和8年度「自転車交通事故多発地域」の指定～

神奈川県交通安全対策協議会(会長:黒岩県知事)は、令和7年中の自転車交通事故件数の割合(構成率)が県内平均(25.7%)より3ポイント以上高いか、自転車交通事故死者数が2人以上のいずれかに該当する計12地域を5月1日付けで「自転車交通事故多発地域」に指定し、自転車事故防止対策の一層の推進を図ることとしました。

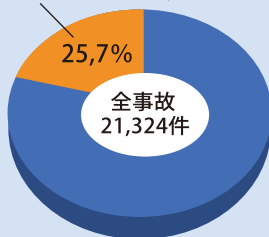
	指定地域 計12地域
横浜市	瀬谷区
川崎市	川崎区、幸区、中原区、高津区、多摩区
相模原市	中央区、南区
その他市部	平塚市、茅ヶ崎市、座間市
その他郡部	寒川町
死者数2人以上	相模原市南区(重複)、茅ヶ崎市(重複)

県内自転車関連事故の発生状況(令和7年)

自転車の交通違反については、令和8年4月1日から「交通反則通告制度(青切符)」が適用されています。自転車は、大人から子供まで免許のいらぬ手軽な交通手段として活用されていますが、ちょっとした不注意や、決められたルールを守らないと交通事故の加害者となったり被害者となったりすることがあります。一人ひとりが交通ルールを守って安全な運転をお願いします。

◎令和7年中の自転車関連事故発生状況

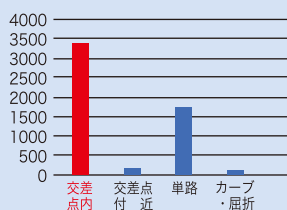
自転車関連事故 5,477件



〈自転車関連事故件数〉

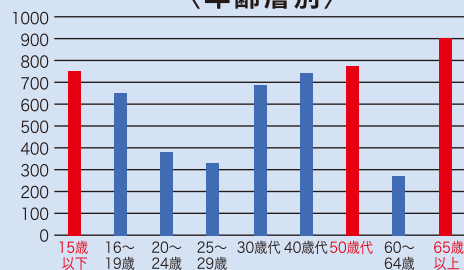
自転車関連事故は全事故の約25.7%を占めました。
令和6年と比較して、発生件数、死者数、負傷者数いずれも増加傾向です。

〈道路形状別衝突地点〉



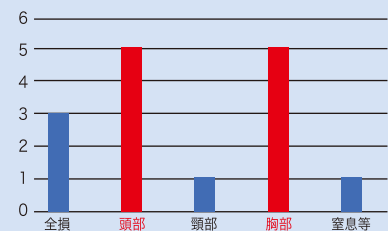
交差点の事故が全体の64.2%を占めました。
交差点では左右の安全確認を忘れずに。

〈年齢層別〉



65歳以上、50歳代、15歳以下の事故が多くなっていますが、幅広い年齢層での事故が発生しています。

〈自転車乗車中死者の主要損傷部位(15人)〉



致命傷は頭部・胸部損傷で78.5%を占めました。
☆自転車乗車用ヘルメット着用は全ての自転車利用者に対して努力義務化されています!
自分の身を守るために自転車乗車用ヘルメットをかぶりましょう!

